



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 株式会社新川 上場取引所 東
 コード番号 6274 URL http://www.shinkawa.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 西村 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 森 琢也 (TEL) 042-560-4848
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,728	△65.8	△885	—	△801	—	△804	—
25年3月期第1四半期	5,049	23.1	△56	—	△98	—	△155	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △316百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △272百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△44.21	—
25年3月期第1四半期	△8.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	30,837	28,483	92.4
25年3月期	31,004	28,967	93.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 28,483百万円 25年3月期 28,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の期末配当予想については未定です。

3. 平成26年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,900	△41.1	△1,520	—	△1,460	—	△1,470	—	△80.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) Shinkawa Manufacturing Asia Co., Ltd.、除外 1社(社名) —

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	20,047,500株	25年3月期	20,047,500株
26年3月期1Q	1,872,259株	25年3月期	1,872,189株
26年3月期1Q	18,175,276株	25年3月期1Q	18,175,793株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(その他の注記事項)	8
4. 補足情報	9
最近における四半期毎の業績の推移	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の個人消費の緩やかな回復や、日本の経済対策などへの期待から、日米景気の回復傾向は鮮明となりましたが、欧州における若年層の失業率上昇や、中国の輸出減少による成長鈍化など、依然として不確実性を抱える状況が継続しました。

半導体業界においては、PC用DRAM価格が上昇しましたが、PC市場の縮小を見越したメモリーメーカーによる減産が主な要因であり、積極的な設備投資には結びつきませんでした。一方で、モバイル関連市場が好調に推移するとともに、大容量化が進むサーバなどで採用される、3Dパッケージなどの先端デバイスの量産に向けた設備投資が盛り上がりを見せ始めました。

このような状況のもと、当社グループは、5月にTCB工法ウェーハ用フリップチップボンダLFB-2301を市場投入し、平成26年に本格生産の開始が予想される、TCB工法によるフリップチップデバイスの設備投資に向けた評価を進めました。

また、昨年市場投入したIC用ワイヤボンダUTC-5000に加え、要求が高まる銅ワイヤボンディング市場へ向けて、UTC-5000をベースとした銅線対応機種UTC-5000NeoCuを6月に市場投入しました。

収益構造改革としては、4月よりタイ工場でワイヤボンダの生産を開始しましたが、UTC-5000などの新製品が評価中であることから、タイ工場での生産拡大には至らず、海外生産による原価低減の効果は限定的となりました。これらに加え、新製品開発による研究開発費などの経費が増加したことにより、利益面においても厳しい結果となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,728百万円（前年同期比65.8%減）、営業損失885百万円（前年同期は営業損失56百万円）、経常損失801百万円（前年同期は経常損失98百万円）、四半期純損失804百万円（前年同期は四半期純損失155百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より167百万円減少し、30,837百万円となりました。主な増加は、有形固定資産1,618百万円（タイ生産子会社の連結子会社化に伴う増加を含む）、受取手形及び売掛金396百万円であり、主な減少は、その他の流動資産1,323百万円（タイ生産子会社の連結子会社化に伴う短期貸付金の相殺消去を含む）、現金及び預金743百万円です。

負債合計は、前連結会計年度末より317百万円増加し、2,354百万円となりました。主な増加は、繰延税金負債132百万円、退職給付引当金82百万円および買掛金59百万円であり、主な減少は、流動負債の引当金（製品保証引当金）45百万円です。

純資産は、前連結会計年度末より484百万円減少し、28,483百万円となりました。主な増加は、その他有価証券差額金256百万円および為替換算調整勘定231百万円であり、主な減少は、四半期純損失の計上および配当金の支払いによる利益剰余金の減少971百万円です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の93.4%から92.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

エレクトロニクス業界においては、ビッグデータの活用などにより、クラウドコンピューティングの普及が進んでおり、下期には半導体メーカー各社において先端デバイスの量産に向けた設備投資が本格化すると予想されます。一方で、欧州における景気低迷の長期化に加え、中国の金融システムへの懸念や中東・北アフリカ情勢の緊迫化による原油価格の上昇など、依然として半導体需要を左右する世界経済の下押し要因が散見されます。

このような状況のもと、直近の受注状況など、現時点において当社グループが把握する情報に基づき、第2四半期連結累計期間の業績予測を開示します。

第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,900百万円（前年同期比41.1%減）、営業損失1,520百万円（前年同期は営業損失592百万円）、経常損失1,460百万円（前年同期は経常損失649百万円）、四半期純損失1,470百万円（前年同期は四半期純損失726百万円）を見込んでいます。

なお、為替の想定換算レートは、95円/米ドルです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

子会社のShinkawa Manufacturing Asia Co., Ltd.は、生産活動を開始し重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めています。

なお、当該子会社は当第1四半期連結会計期間に増資を実施し、資本金が当社の資本金額の10%以上に相当することとなったため、当社の特定子会社に該当します。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、連結子会社の法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,845	9,102
受取手形及び売掛金	2,231	2,627
商品及び製品	3,603	3,611
仕掛品	1,315	1,327
原材料及び貯蔵品	407	428
その他	1,706	383
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	19,105	17,475
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,929	5,337
その他 (純額)	1,928	3,138
有形固定資産合計	6,857	8,475
無形固定資産		
その他	57	110
無形固定資産合計	57	110
投資その他の資産		
投資有価証券	4,597	4,373
その他	387	405
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,984	4,777
固定資産合計	11,899	13,362
資産合計	31,004	30,837
負債の部		
流動負債		
買掛金	467	525
未払法人税等	52	41
引当金	120	75
その他	315	415
流動負債合計	954	1,057
固定負債		
退職給付引当金	515	597
繰延税金負債	547	679
その他	22	22
固定負債合計	1,084	1,298
負債合計	2,037	2,354

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,360	8,360
資本剰余金	8,907	8,907
利益剰余金	13,768	12,796
自己株式	△3,149	△3,149
株主資本合計	27,886	26,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,306	1,563
為替換算調整勘定	△226	6
その他の包括利益累計額合計	1,081	1,569
純資産合計	28,967	28,483
負債純資産合計	31,004	30,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,049	1,728
売上原価	3,805	1,146
売上総利益	1,245	582
販売費及び一般管理費		
営業サービス費	79	76
従業員給料及び賞与	242	250
退職給付費用	7	31
試験研究費	411	617
貸倒引当金繰入額	1	1
製品保証引当金繰入額	67	14
その他	494	478
販売費及び一般管理費合計	1,300	1,467
営業損失(△)	△56	△885
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	24	25
為替差益	—	25
助成金収入	19	22
その他	13	5
営業外収益合計	60	84
営業外費用		
為替差損	102	—
賃貸収入原価	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	102	0
経常損失(△)	△98	△801
特別損失		
損害賠償金	※ 11	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△109	△801
法人税、住民税及び事業税	36	11
法人税等調整額	10	△9
法人税等合計	46	2
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△155	△804
四半期純損失(△)	△155	△804

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△155	△804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	256
為替換算調整勘定	△28	231
その他の包括利益合計	△117	488
四半期包括利益	△272	△316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△272	△316
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(その他の注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 損害賠償金

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

顧客の製品製造費用の一部を負担することによる損害賠償金91百万円と、海外PL保険契約に基づいて支払われた保険金80百万円を相殺して計上しています。

4. 補足情報

最近における四半期毎の業績の推移

平成25年3月期(連結)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
	平成24年4月 ～平成24年6月	平成24年7月 ～平成24年9月	平成24年10月 ～平成24年12月	平成25年1月 ～平成25年3月	平成24年4月 ～平成25年3月
売上高 (百万円)	5,049	3,277	2,085	939	11,350
売上総利益 (百万円)	1,245	777	567	128	2,716
営業損失(△) (百万円)	△56	△536	△732	△1,233	△2,558
経常損失(△) (百万円)	△98	△551	△419	△983	△2,051
税金等調整前四半期(当期) 純損失(△) (百万円)	△109	△554	△418	△977	△2,057
四半期(当期)純損失(△) (百万円)	△155	△571	△417	△978	△2,120
1株当たり四半期(当期) 純損失(△) (円)	△8.52	△31.42	△22.92	△53.79	△116.65
総資産 (百万円)	32,930	31,588	31,524	31,004	31,004
純資産 (百万円)	30,003	29,235	29,418	28,967	28,967
受注高 (百万円)	5,880	2,054	1,271	934	10,139

平成26年3月期(連結)

	第1四半期
	平成25年4月 ～平成25年6月
売上高 (百万円)	1,728
売上総利益 (百万円)	582
営業損失(△) (百万円)	△885
経常損失(△) (百万円)	△801
税金等調整前四半期(当期) 純損失(△) (百万円)	△801
四半期(当期)純損失(△) (百万円)	△804
1株当たり四半期(当期) 純損失(△) (円)	△44.21
総資産 (百万円)	30,837
純資産 (百万円)	28,483
受注高 (百万円)	2,906